



白河二中だより

NO. 2
2023. 4. 14
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

スタートを大切に

子ども達の健康を確認するために、先週末から、身体測定、貧血検査等を実施しました。学校生活を送る上で何よりも大切なのは「健康」ですので、毎日、3回の食事をしっかりと摂り、睡眠時間も確保し、元気に登校してほしいと思います。ちなみに、WBCや大リーグでも大活躍の大谷翔平選手も疲れを残さないために、睡眠時間の確保に努めていると聞きました。ゲーム等に夢中になり寝不足を感じている人は、少し時間を短縮して、睡眠時間を確保してほしいと思います。ご家庭のご協力もお願い致します。検査結果につきましては、順次お知らせいたします。



さて、先週末には新入生歓迎会が行われ、部活動や生徒会の各委員会等が紹介されました。どの部に入るか検討中の1年生に向け、職員室前には、各部の紹介ポスターも掲示されました。部活動結成式は24日(月)ですので、ご家庭でも相談に乗っていただければと思います。

次の文章は、「中学校生活で心がけてほしいこと」として、入学式で話した内容です。お読みください。

中学生になると、心や体が大きく成長します。新しい知識が身に付き、運動能力が高まり、体力も向上します。是非、このような育ち盛りの時に、部活に打ち込んで、汗を流し、心と体を鍛えるのもよし、詩を作る、文章を書く、本を読む、興味のあることについて研究し追究する、芸術に挑戦する、趣味を広げる、など、中学生時代にしかできない様々なことに挑戦してください。時には、うまくいかないこともあるかもしれませんが、失敗や挫折を恐れずチャレンジしましょう。一生懸命頑張ることが自分を成長させてくれます。

また、皆さんは、我慢するという経験をしてきたでしょうか。我慢は自分を押しえつける力です。自分の弱さや我儘と闘う力が必要です。世の中は、刺激的で楽しいものに溢れていますので、我慢ができない人は、次から次へと刺激的なものを追い求め、楽しいことだけを追いかけて、やがて、面倒なこと、つらいこと、苦しいことから逃げるようになります。そうならぬよう、様々なことにチャレンジするとともに、我慢することも心がけてほしいと思います。

絵画の寄贈

3月27日(月)に、本校の卒業生の吉田努さん(昭和55年度卒業)より絵画の寄贈があり、昇降口のフロアに展示しました。

いただいた絵画は、吉田さんが武蔵野美術大学の卒業制作として作成し、その年度の最高賞をいただいた作品だそうです。大きさは100号(1620×1303)もあり、題名は「昼」です。

吉田さんは、本校の卒業生の中に、「このように美術作品の制作を続けている人がいることを知ってほしい」また、「これだけの大きさの絵画を間近で鑑賞し、何かを感じてほしい」とお話をされていました。

3日後の30日からは、海外での制作活動を再開するという事で、フィリピンへ出発されました。半年間ほどは作品制作に没頭するとのことでした。素敵な作品を作成し、帰国されることを願いたいと思います。



